

夕日岳山行報告

【山行日】2019年5月4(土) 晴れ後小雨

【集 合】栃木市運動公園P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 1,400円

【メンバー】CL:鈴木、SL 大西、石川、島田、
関口、田村ヤ、鶴見、福島、福田、渡辺

【コースタイム】栃木市運動公園P6:00＝

細尾峠P7:00/7:20～薬師岳8:10/8:20～三ツ目

9:40～夕日岳 10:00/10:10～三ツ目 10:30～

地藏岳 10:55/11:25～三ツ目 11:55～薬師の肩

13:05～細尾峠P13:50/14:00＝栃木市運動公園P15:45



GW の月例山行第2段は、細尾峠からアカヤシオの花を求めて薬師岳・夕日岳・地藏岳の三山に登る計画を立てた。栃木市運動公園を6:00に出発し、栃木インターから東北道に入ったが渋滞は無くスムーズに走れた。日光宇都宮道路も順調に走ったが、日光口のPAは車がいっぱい止まって



おり、売店も7時前から営業していた。日光宇都宮道路を出て、清滝交差点を左折し国道122号線を進む。日足トンネルを抜けた先で、戻るように旧道に入り九十九折れの山道を走り細尾峠に着く。

Uターンして路肩に車を止め、出発の準備を整えストレッチを済ませて出発する。道標がある登山口から登山道に入り、狭い尾根をたどって行く。

少し登るとアカヤシオの花が見られ、皆さんから

ウワ～綺麗と歓声上がる。でもこのあたりで見

られると言うことは、夕日岳のアカヤシオは時季

が早く咲いてないと思った。やがて道は尾根から薬師岳山頂へ直登の道になり、急登となるがアカヤシオの花が疲れを癒してくれる。20分ほど急登を頑張ると傾斜が緩くなり、薬師岳山頂に着く。

山頂には山頂標識と祠があり、東側から北側の展望が開け男体山や前日光の山々の展望が素晴らしい。小休止し記念写真を撮って、水分を補給したら夕日岳に向かって出発する。

ここからは南への尾根をたどり、自然林の気持が良い歩きが続く。まだ芽吹きが始まる前で展望が良く、半月山や社山を眺めながら爽快に歩ける。アカヤシオの花を楽しみながら歩き、不動尊像を左に見て、アップダウンを数回繰り返すと三ツ目の分岐に着く。小休止し呼



吸を整えたら分岐を左に進み、夕日岳への尾根を辿る。少し下ってから登るようになり、中岩と呼ばれる露岩帯を過ぎてひと登りすると夕日岳山頂に着く。

山頂は北側が開け、日光連山の展望が素晴らしいが、雲が多くなり男体山は見えなくなっていた。



GW 中で今日が一番良い天気という予報だったが、寒気が入って午後にはわか雨がある予報に変わっていた。アカヤシオもまだつぼみで、少しピンクに見えるが満開までは1週間くらい掛かりそうだった。ザックを降ろして休憩し、果物や菓子を食べてオヤツタイム。記念写真を撮ったら来た道を三ツ目分岐まで戻り、分岐を左に進み地蔵岳に向かう。このころから雲行きが怪しくなり、地蔵岳に着くとポツリと雨粒を感じた。山頂で記念写真を撮ったらランチタイム

とし、急いで天ぷら蕎麦を作る。冷凍蕎麦を持って来たが、解凍してコシが無く柔らかい蕎麦になってしまった。それでも温かい蕎麦は美味しく、おにぎりとともに合うような気がした。食べているうちに雨がパラツキ始め、雷鳴も聞こえてきたので急いで後片付けをして下山する。下山は往路を戻り、登山口まで下る。

ポツポツ程度の雨だったが、不動尊象手前で雨脚が強くなりレインウエアの上衣を着る。雨脚はしだいに弱くなり歩くのに支障は無いが、雷鳴が段々大きくなってきた。

薬師岳からの下りになると雨は止み、途中の平らな場所で小休止し残っていた果物や菓子を食べて体を休める。登山口まで大して濡れることなく戻り、靴を履き替えたら車に乗り帰路につく。帰りは渋滞の高速道を避けて、粕尾峠越えて栃木市に向かう。



粕尾峠への道路は、路面がかなり濡れていてこちら側は雨が降ったようだ。途中、下粕尾の野菜直売所に寄り、コシアブラやコゴミ、トマトやイチゴ等のお土産を買い栃木市運動公園に予定より早く帰着した。